

組合支援 ウォッチ

第45回福岡県伝統的工芸品展を 開催しました！ 福岡県伝統的工芸品振興協議会

1月15日(土)、16日(日)の2日間、福岡市中央区「ソラリアプラザ ゼファ」にて「第45回福岡県伝統的工芸品展」が開催されました。

今年で45回目となる本展示会は、日本の風土と歴史の中で育まれてきた県内の伝統的工芸品7産地(博多織・博多人形・久留米絣・小石原焼・八女福島仏壇・上野焼・八女提灯)が一堂に会して開催するもので、職人技術の粋を集めた作品の展示・2次製品の販売等により、伝統的工芸品の魅力を広める為の場となっています。

本来であれば、来賓を招いてのオープニングセレモニーを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大をうけ、実施を断念。粛々と展示会がスタートしました。とはいえ、会場内の華やかな雰囲気誘われたのか、オープン直後から来場者は増え続け、イベントは次第に賑わいをみせていきました。若い世代の来場者の姿も多くみられ、“活力の集まる町”天神での展示会開催の意義を深く感じる事が出来ます。会場には、前日のコンクールで受賞した作品を始めとした各産地の力作が展示・販売され、アマビエの博多人形、博多織・久留米絣

のマスク等、新型コロナウイルスの流行をうけたことで出来た作品もあり、来場者の関心を引いていました。

伝統的工芸品の産地の多くは、新型コロナウイルス感染症の影響で展示会・販売会などの中止が相次ぎ、買い手とのコミュニケーションの場が激減しています。本展示会についても同様で、好評を博していた工芸品の製作実演・体験教室は実施が叶いませんでした。このように、本年度も依然としてその猛威を振るった新型コロナウイルス感染症でしたが、ワクチン接種率の向上や治療薬の開発など、明るい兆しも見え始めています。事態が落ち着いた際は、各産地を訪れ工芸品を手にとっていただければと思います。



博多人形「立つ」(製作者: 臼杵 康弘)



会場内の様子